

DemocracyNow
MAY 19, 2022

ウクライナ侵攻の内幕とプーチン

Talks to End War in Ukraine Are Collapsing
as U.S. Seeks Regime Change in Moscow

Nina Khrushcheva
with AMY GOODMAN

TV インタビューの記事起こしの要旨です。確な情報はリンク先のビデオを
閲覧してください。

https://www.democracynow.org/2022/5/19/nina_khrushcheva_russia_ukraine_want_wins

前文

今のところ、和平交渉のプロセスは崩壊したように見える。

プーチン大統領は、ウクライナ側の強力な防衛にもかかわらず、軍事的および領土的勝利を獲得することにこだわっているようだ。

米国はウクライナに数百万ドルの武器を注ぎ続けている。

本日はニュースクールの教授で、フルシチョフ元ソ連共産党第一書記の曾孫であるニーナ・フルシチョバが状況を語る。

Q:

今は合意からどんどん遠ざかっているようだ。米議会でウクライナへの400億ドルの追加援助が承認された。一方、フランス、ドイツ、イタリアは停戦交渉を強く求めている。

ドイツのショルツ首相はプーチン大統領との電話の後、ツイッターで「ウクライナではできるだけ早く停戦が必要だ」と書いた。フランスのマクロン大統領は、「欧州の義務はロシアとの戦争ではなく停戦を達成すること」と語った。イタリアのドラギ首相も停戦交渉の推進を主張した。

フ教授、ウクライナとロシアの間の交渉は崩壊しているようだが、何が起こったのか？



フルシチェバ：

ドイツはロシアとウクライナのあいだで難しい道を歩んでいます。プーチンは交渉の準備ができていないし、ウクライナは今のところ同意するつもりはないからです。

双方がより多くの軍事的勝利を望んでいます。そしてそれが可能だと感じています。

太古の昔から、戦争は領土を奪い続け、あるいは領土を解放することを最大目標としています。

Q:

米国の政策は今や変わったという意見がある。当初はウクライナを守ることだったが、今ではロシアを打ち負かすことが目標になっている。

それは正しいのか？

もしそうなら、ロシアにとって「敗北」はどのようなものか。それは受け入れられるものか？

フルシチェバ：

私は米国の政策がシフトしたとは思っていないんです。ただ、ロシアがこれほどひどい状態になるとは、米国は予想していなかった。進撃は遅く、収めた勝利は少ない。

アメリカ側の計算では、キエフは3日で陥落するはずでした。今のところ、キエフはまったく占領されていませんし、今後の計画にもまったく入っていないようです。

しかしそれでも、ロシアの体制変更は最初からアメリカの考えだったと思います。それは一種の複雑で大規模な制裁です。

オリガルヒはヨットが持ち去られてから非常に動揺し、クーデターを考えるようになっています。

米国の立場が変わったかどうかはわかりませんが、米国がウクライナ政府との声高なやり取りの中で、気分が高揚したことは間違いありません。

交渉が進行しているように見えた頃、ロシア人はキーウ近郊から撤退しました。それ交渉を助けるための手立てだったのですが、ウクライナ側とアメリカ側は、これをロシア側の敗北と受け取りました。そしてさらに“もっと戦う道”を選び、さらに多くの武器をウクライナに持ち込みました。

米国は、ウクライナが勝つことができると考えているので、交渉や停戦には興味を持っていないようです。私の出演した米国のテレビ番組のアンカーは、みな「どうやってプーチンを排除するのか」と聞いてきます。

「ハリウッド映画ではないので、私たちは排除しないかもしれませんが」と私は答えました。

現実の世界ではすべてが正義の主人公の勝利で終わるわけではありません。しかし米国はウクライナの戦闘力が当初の予想よりもはるかに大きいため、ウクライナは交渉努力ではなく、戦争努力で最後まで支援されるべきだと考えているようです。

Q:

あなたはロシアの人々と定期的に連絡を取り合っている。米国の制裁は支配体制や一般の人々にどのような影響を及ぼしているか？

フルシチェバ：

政権は認めないが、もはや西欧製の商品は明らかに底をついています。私はそう聞いています。

ロシアの都市の至るところで、高級品や輸入品店の陳列はぼっかりと穴が開いているそうです。だから、皆、もうすでに実感しています。

プーシキン広場にあるマクドナルドの店舗は、グローバルなビジネスの象徴でした。ただこちらの方はうまく適応できているようです。

名前が変わるだけで、そこでマクドナルドがやっていたことの90%はそのまま続けているそうです。だから、マクドナルドの看板はなくなっても、ハンバーガーは残っているし、同じに見えるかもしれません。

しかし、制裁はロシア人にもう一つのものをもたらします。それは西側世界に対する怒りです。

彼らはプーチンが自分たちを戦争に巻き込んだことに対しても怒っていますが、西側が門戸を閉じた閉じたことに怒っています。戦争を支持するかどうかにかかわらず、ロシア人全員がまとめて罰を受けることに理不尽さを感じています。

そのため、彼らは西側に対して非常に憤慨しています。彼らには行き場もないしビザもありません。

戦争が始まった2月や3月に海外に逃れた人たちがたくさんいます。しかしその多くは、銀行口座を開設できないなどの理由で、今また戻らなければならなくなっています。

私は、米国やその他の西側諸国が、ロシアに残っている市民社会を完全に殺すのではなく、良い方向に強化する方法を検討すべきであると思います。

Q:

あなたは「プーチンはロシアを乗っ取った」と書いている。その過程は今度のウクライナ侵攻とどうつながっているのか？

フルシチェバ:

良い質問をありがとうございます。

プーチンは、99年に首相に就任し、2000年にロシア大統領に就任したのですが、そのとき、彼はKGBの現役の中佐でした。つまり彼は完璧にKGBなのです。そして石油・ガス業界や宇宙産業、銀行業界などを監督してきた多くの人々が、プーチンのKGB時代の友人や同僚なのです。

私の主張は、2月24日に起こったことは、KGBの後進FSBのプーチン派による内部クーデターであったということです。

というのも、以前は、KGBの人々、私はKGBを総括して治安部隊の人々と呼んでいましたが、彼らの作戦は一種の手づくり的計画でした。

押すも引くも経験と勘によります。しかし大もとには2つの共通する価値観がありました。

ロシアには安全保障が必要であり、それは非常に強力な装置であるべきだということ、もうひとつ、同時にそれは世界の安全保障システムの一部であるべきだということです。

しかし2022年2月24日には、かなりの保安担当者にとって、決定と指令は寝耳に水でした。私たちは彼らとその準備ができていなかったことを知っています。それはプーチンの独断でした。

このことから、2月24日まで存在していた政治機能は、この完全に顔を持たない盲目の機構によって置き換えられました。

それがウクライナでのこの戦争のすべてです。ですから、プーチンがいなくなった場合、事態が良くなると期待されるということです。まあ、それは期待に過ぎませんが、より毒性が薄くなる可能性はあります。

公安部は世紀を超えてロシアを仕切ってきました。これは今後も代わることはないでしょう。しかしもう少し秩序だった公安政治になるでしょう。

そして国際的には筋の通ったやり方に復帰するでしょう。国内的には相変わらずの抑圧政治でしょうが...

Q:

多くの人がウクライナにとってのみならずロシアにとっても壊滅的であると指摘している。

あなたはウクライナを侵略するという決定はプーチンによるものだと言った。彼はどのような理由でこの決定を下したのか？

もう一つ、彼がこの決定を下したのはどのような情報にもとづいてのことだったのか？

フルシチェバ:

私は以前の記事でもこのことについて書きました。

プーチンは KGB の人間でしたから、物事を基本的に秘密作戦を扱うように進めていくのです。ですから、何が起きているのか知っている人はごくわずかです。

実際のところ、軍自身も、いつ決行するのか、ウクライナ全土に侵攻するのか、それとも東部だけに侵攻するのか、分かっていませんでした。

つまり、それは絶対的な権力が絶対的に腐敗していたということです。

プーチンは 22 年間国家のトップにいます。彼に情報を提供していたのは治

安部隊でした。その情報は、本当の情報ではなく、彼が聞きかかった情報なのです。

公安部はウクライナのナチスト大統領について、西側が彼らを支配していることについて、普通のウクライナ人がナチの抑圧に苦しんでいることについて歪んだ情報を与え続けました。

その結果、ロシア軍は本当にウクライナを破壊してしまいました。それどころか完璧に破壊しました。

それが今後何をもたらすでしょうか。ウクライナは再建され、これまで以上に良くなるでしょうが、ロシアは数十年の間破壊されたままに終わるでしょう。それは誰も、ロシアがいつかは普通の国になれるだろうとは信じないからです。

ウクライナはロシアに代わり、プーチンが想像していた「汎スラブ国家」のリーダーとなり、弱体化したロシアを合併する準備ができています。

まだ十分な時間が経っていませんが、もっと時間が経てば、この公安発の偽情報や誤報が、いったいどうやって信じられるに至ったのか。それがウクライナにとってだけでなく、ロシアにとってだけでなく、世界全体にとって破滅的な決定をもたらしたのか。

そのことが、歴史上最も驚くべき研究のひとつになると思います。

Q :

今週初めに、戦争の認識に批判的であるように見えた元ロシア大佐のビデオが広く流布された。

彼は国営テレビで、このように話した。

そして数日後に再び現れ、非常に異なる意見を表明した。以下は1回目の発言だ。

MIKHAIL KHODARYONOK :

まず、言うておかなければならないのは、気慰め型の鎮静剤を飲んではいけないということです。

時々、ウクライナ軍のモラルが崩壊している、彼らの気分は危機に近いと言われている、という報道を耳にすることがあります。

これは控えめに言っても真実ではありません。私たちの状況は、どんどんと悪化していくでしょう。

わが国の軍事的・政治的状況の最大の問題は、わが国が地政学的に完全に孤立していることです。わが国がそれを認めたくなくても、全世界がわが国を敵視していることです。

フルシチェバ：

2月21日にプーチンがドネツク共和国とルハンスク共和国の独立を認めると発表したとき、彼はこのような形で発言したり、ロシアの孤立について話したりしないよう、強く警告されていたはずで。

ホダリョーノクの発言はプーチンの側近にとって大ショックでした。しかし、その後すぐに落ち着いたようです。

権威主義者が権威主義を取り戻しました。警告を受けた人もいます。ある者は脅迫されました。そして突然、何でも反逆罪とみなされるようになりました。国を出て行った人たちや批判的な人たちは、反逆罪に相当するとも言い始めました。

内部で反対意見があるのは確かですが、それを公に聞くことはほとんどありません。実際、ますます多くの関係者が恐怖を感じながら、西側や米国に敵対しロシアを支持しています。

ユーリ・シェフチェクはロシアのハードロックの象徴的存在です。彼は祖国の意味を語り、戦争に反対することを訴えました。コンサートの後、彼はすぐに拘束されました。

つまり、戒厳令は発表されていませんが、ロシアは事実上非常事態に入っているのです。

抗議しようとしても、すぐに拘束されてしまうので抗議はできません。有名人、そしてもちろん役人やオリガルヒにも影響があります。

オリガルヒのうち、3人だけが反戦の意思を表明し、『フォーリン・アフェアーズ』の記事にも登場していますが、残りは沈黙を受け入れています。それが KGB の力です。

以下略